



新社会人が勢揃い

4/19 新規学卒就職者歓迎会

市内にある企業の新入社員を対象にした新規学卒就職者歓迎会が4月19日、スイス村サンモリッツで開催されました。

この日は、45社から約230人が参加しました。会田二郎商工会長は「自分の住むところ、勤めるところが安曇野市と胸を張って言えるようにしてほしい」と激励しました。就職者代表のニチコン(株)の今井加奈さんは「安曇野市から感動を世界へ発信できるよう頑張りたい」と抱負を語りました。会では、丸の内ビジネス専門学校長の内川小百合さんによる講演が行われました。



身近な生きもの調査開始

4/21 あづみ野環境塾開催

市環境基本計画策定の資料づくりと、市民の環境への関心を高めるための企画であるあづみ野環境塾「身近な生きもの調査説明会」が4月21日、国営アルプスあづみの公園で開催されました。

この日は、親子連れなど約100人が集まりました。調査対象となる動植物など生きものは33種類で、調査方法などの説明を受けた後、グループに分かれて、園内で観察会を行いました。今後は、当面の間秋まで調査を行い、その後も息の長い調査として継続していく予定です。

春を告げる歌声が響く

4/29・5/5 市内の音楽まつり

安曇野に春を告げる音楽の祭典がゴールデンウィーク中に市内の各所で行われました。

4月29日には、第24回早春賦まつりが穂高川沿いに建つ早春賦歌碑前で行われました。市内の子どもたちとコーラスグループによる三世代合唱やインディアンハープ演奏、来場者全員参加の早春賦の大合唱などが行われました。残雪の北アルプスと青空のもと、県内外から参加した300人は、春の訪れを実感していました。また、この日は夕方から早春賦を作詞した吉丸一昌さんの孫の昌昭さんがプロデュースしたドキュメンタリー映画「二つの故国をつなぐ歌-Diva(ディーヴァ)早春賦をうたう」の特別試写会も行われました。

5月5日には、第44回童謡祭が開催され、安曇野の春を待ちわびた多くの人が集い、歌声を響かせました。



総合順位	市町村対抗
1位 長野市	6位 松川町
2位 駒ヶ根市	7位 千曲市
3位 松本市	8位 塩尻市
4位 上田市	9位 伊那市
5位 安曇野市	10位 佐久市

安曇野市は第5位、小学生は第3位

5/6 長野県市町村対抗駅伝競走大会
□ 長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会

第17回長野県市町村対抗駅伝競走大会が5月6日、松本城太鼓門前から松本平広域公園陸上競技場までの8区間(39.3^{キロ})で行われました。今年は県内の57チームが参加しました。予選会などを行い、選抜された安曇野市チームは、雨が降る悪天候の中、全員が安定した走りを見せ、総合5位入賞を果たしました。

第1区間を走った津金寛彦君(堀金中3年)は「雨のレースは好きな方ですが、今日の調子はいまいちでした。ほかのチームの人は強く、自分はまだまだだと思いました」と話してくれました。

この日は、第3回小学生市町村対抗駅伝競走大会も行われ、安曇野市は第3位となりました。選手たちは、練習を重ねる中で新しい仲間作りもでき、昨年を上回る結果に喜んでいました。



「おばあちゃんからのおくりもの」が図書館に

明科の望月美輪さん原作の絵本が優秀賞

子どもたちが楽しみながら、人権について考え、話し合えることができるきっかけとなってほしい…。大阪市教育委員会が毎年実施している「人権絵本原作コンクール」で、明科の望月美輪さんの作品が、最高賞となる優秀賞を受賞し、このほど絵本となりました。望月さんは、福祉現場での経験も生かした創作活動を行っていて、今回の作品もそのときの出来事がもとになっています。今回の受賞について望月さんは、「絵本になる打ち合わせをしているうちに、実感が湧いてきました」とうれしそうに話してくれました。絵本となった「おばあちゃんからのおくりもの」は市内の各図書館で借りることができます。



スポーツの季節に笑顔いっぱい

4/7 スポーツ少年団結団式

今年1月に設立された安曇野市スポーツ少年団がシーズン本番を目前に控えた4月7日、県民豊科運動広場で結団式を行いました。

これまで5地域で別々に活動していた少年団が1つになって初めての結団式で、この日は約1,000人の関係者が参加しました。同スポーツ少年団には、市内で活動する野球やサッカー、柔道など58の団体が加盟。県内のスポーツ少年団の1割にあたる約1,800人が活動する大所帯となりました。本部長の西村義夫さんは「大きくなったことで横のつながりができた。スポーツ以外の交流も積極的に行っていきたい」と話していました。